

令和2年度

西川町教育委員会事務事業点検・評価報告書

令和3年9月

西川町教育委員会

目 次

I	教育委員会事務事業点検・評価	
1	制度の概要及び目的	1
2	点検・評価の対象事業及び方法	1
3	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	
1	教育委員会委員	2
2	教育委員会の活動	2
III	教育委員会事務事業に係る施策の体系	4
IV	事務事業点検・評価	
	点検・評価対象事業一覧	8
	・教育用コンピュータ整備事業	9
	・新型コロナウイルス感染症対策事業	10
	・外国語宿泊研修事業	11
	・放課後子どもプラン事業	12
	・丸山薫記念館文芸活動推進事業	13
	・町立図書館の運営に要する経費	14
	・月山湖カヌースプリント競技場施設整備事業	15
	・町民スキー場管理運営に要する経費	16
V	外部評価委員（西川町教育事務評価委員）の意見	
1	教育委員会の活動状況についての意見	17
2	事務事業の点検・評価についての意見	17
	【資料】	
	西川町教育委員会の教育に関する事務の点検及び評価実施要綱	21
	西川町教育委員会事務事業点検・評価実施要領	22

I 教育委員会事務事業点検・評価

1 制度の概要及び目的

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りながら点検及び報告を行わなければならないこととなっております。

西川町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に説明責任を果たすため、令和2年度に実施した事務事業について、3人の外部評価委員（西川町教育事務評価委員）の意見をいただきながら、点検・評価を実施するとともに、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業及び方法

点検・評価は、令和2年度において教育委員会が所管実施した事業のうち、主要事業として選定した8事業を対象として実施しています。

なお、点検・評価の対象事業の選定及び方法は、西川町教育委員会事務事業点検・評価実施要綱並びに同実施要領に基づくものであります。

3 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価について、その客観性を確保するため、3人の学識経験を外部評価委員（西川町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容についてご意見をいただきました。

◇ 西川町教育事務評価委員

氏名	役職名等
荒木良弘	西川町社会教育委員
荒木美知子	前小学校教諭
尾形順一	西川小学校PTA副会長

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員

令和3年3月31日現在

職名	委員名	任期
教育長	伊藤 功	平成30年4月1日～令和3年3月31日
教育委員	阿部 仁	令和02年10月1日～令和6年9月30日
教育委員	近松 和朗	令和1年10月1日～令和5年9月30日
教育委員	大泉 奈緒子	平成29年10月1日～令和3年9月30日
教育委員	松田 光子	平成30年12月23日～令和4年12月22日

2 教育委員会の活動

(1) 会議の開催

開催日	種別	議 事
4月21日	定例	議第1号 令和2年度西川町学校教育センター職員の任命について 議第2号 令和3年度～令和6年度使用中学校教科用図書選定の委任について 議第3号 西村山地区教科用図書採択協議会委員の指名について 議第4号 西村山地区教科用図書採択協議会委員の推薦について 議第5号 西川町文化財調査委員会委員の委嘱について 議第6号 西川町スポーツ推進委員の委嘱について 議第7号 西川町社会教育委員の委嘱について
5月26日	定例	議第8号 西川町教育支援委員会委員の委嘱について 議第9号 西川町自然と匠の伝承館巧人の認定について 議第10号 西川町立小中学校の要保護・準要保護児童生徒の認定について
6月17日	定例	議第11号 西川町立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議第12号 西川町教育事務評価委員の委嘱について 議第13号 西川町公民館職員の任命について 議第14号 西川町公民館運営審議会委員の委嘱について 議第15号 西川町立小中学校児童生徒の要保護・準要保護児童生徒の認定について 議第16号 西川中学校における学期の変更について
7月28日	定例	議第17号 令和3年度使用教科用図書の採択について
8月25日	定例	議第18号 令和元年度西川町教育委員会事務事業点検・評価の報告について 議第19号 西川町教育振興基本計画策定委員の委嘱について 議第20号 山形市立中学校への区域外就学の承諾について
9月29日	定例	議第21号 令和3年度学級編制届出書について 議第22号 ICT活用計画等の策定について
10月27日	定例	なし
11月13日	定例	なし

開催日	種別	議 事
12月22日	定例	議第23号 令和3年度西川町学校教育の重点について
1月25日	定例	議第24号 令和3年度西川町立西川小学校及び西川町立西川中学校の入学予定者について
2月24日	定例	議第25号 西川町いじめ防止基本方針の改正について 議第26号 西川町育英奨学資金運営審議委員会委員の選任について 議第27号 令和2年度西川町一般会計予算(案)(教育費)について 議第28号 令和2年度西川町教育委員会委員の学校訪問について 議第29号 令和2年度西川町立小中学校の要保護・準要保護児童生徒の認定について 議第30号 寒河江市立小学校への区域外就学の承諾について
3月8日	臨時	議第31号 令和3年度西川町立小中学校職員の人事異動内申について 議第32号 令和3年度学級編制の変更届出について
3月23日	定例	議第33号 西川町教育振興基本計画の策定について 議第34号 令和3年度西川町立小中学校の要保護・準要保護児童生徒の認定について 議第35号 令和3年度西川町立小中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 議第36号 令和3年度西川町教育委員会所属職員の人事異動について 議第37号 令和3年度学級編制の変更届出について

(2) 総合教育会議

開催日	協 議 案 件
1月25日	1. 西川町教育振興基本計画(案)について 2. 計画推進にあたっての現状と課題について (1) 青少年スポーツの在り方について (2) 保小中一貫教育における保育園の所管について (3) 放課後子ども教室の今後について (4) 不登校児童生徒等の居場所について

(3) 学校訪問 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(4) その他(行事・研修等)

実施日	内 容	場 所
4月1日	教職員辞令伝達式	西川町役場
11月13日	教育委員・校長教頭合同研修会	西川町役場
3月31日	退職教職員感謝状贈呈式 ※教育長のみ出席	西川中学校

※学校訪問、学校行事が中止となり教育委員が学校に行くことがほとんどなかったため、学校の状況等については、教育長より教育委員会定例会において報告を行った。

Ⅲ 教育委員会事務事業に係る施策の体系

第6次西川町総合計画 「キラリ 月山 健康 元気 にしかわ！」

第2節 基本目標

3 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり

(1) 次世代に引き継ぐ文化振興

【具体的な施策】 I 地域文化の伝承 II 文化資源の活用

(2) 生涯にわたる生きがいがづくり

【具体的な施策】 I 生涯学習の推進 II スポーツの振興 III 推進団体の整理

(3) 全国に誇れる自然教育・学習の推進

【具体的な施策】 I 自然教育・学習の推進

4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり

(1) 子育て応援基盤づくり

【具体的な施策】 I 子ども子育て環境の整備 II 次世代の親の支援

(2) 郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育

【具体的な施策】 I 学校教育の充実 II 郷土教育の推進

(3) 町を支える次世代育成

【具体的な施策】 I 若者の出会い・交流の場の創出 II 定住の条件整備
III まちづくり参画の意識の醸成

(4) 女性が活躍できるまちづくり

【具体的な施策】 I 女性が社会進出しやすい環境の整備
II 女性が活躍できる機会の整備



第6次西川町総合計画を受けて教育大綱・教育振興基本計画を平成28年3月に策定

西川町の教育大綱・西川町教育振興基本計画(H28~R2)

1 基本理念（西川町教育目標）

「ふるさとを愛し ふるさとに誇りを持ち

ふるさとの文化を高め 未来を拓く町民の育成」

2 教育の基本目標

「自立」「協働」「創造」を基軸とした生涯学習社会の構築を目指す。

(1) 自立・・・一人一人が多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことのできる生涯学習社会

(2) 協働・・・個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、共に支え合い、高め合い、社会に参画することのできる生涯学習社会

(3) 創造・・・自立、協働を通して更なる新たな価値を創造していくことのできる生涯学習社会

3 4つの基本的方向性

(1) 社会を生き抜く力の養成

「生きる力」を一人一人に確実に身に付けさせることにより、社会的自立の基礎を培う。また、一人一人の適性、進路に応じて、その能力を最大限に伸ばし、よりよい社会をつくっていくために必要な資質を養う。

- ① 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実
- ② 豊かな心の育成
- ③ 健やかな体の育成
- ④ 教員の資質能力の総合的な向上
- ⑤ 幼児教育の充実
- ⑥ 特別なニーズに対応した教育の推進
- ⑦ 学力向上に向けた継続的な検証サイクルと支援の充実
- ⑧ 子どもの成長に応じた教育システム等の構築
- ⑨ 現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進
- ⑩ 多様な組織が提供する学習機会との連携
- ⑪ キャリア教育の充実
- ⑫ 教育費負担軽減に向けた経済的支援
- ⑬ 学習や社会生活に困難を有する者への学習機会の提供
- ⑭ 学校における児童生徒等の安全確保

(2) 未来への飛躍を実現できる人材の育成

豊かな語学力やコミュニケーション力を備えた世界に通用する人材を育成すると同時に、日本や異文化の良さも理解し、社会の各分野で活躍できる人材を養成する。

- ① 優れた才能や能力を伸ばす学習機会の提供
- ② 外国語教育、国際交流、グローバルな人材育成に向けた取組の強化

(3) 絆づくりと活力あるコミュニティの形成

個々人の多様な学習活動の実施や参画により、家庭や地域のネットワークを広げ、互いの支え合いや助け合いによる、活力あるコミュニティを作っていく。

- ① 学習環境・協働体制の整備
- ② 地域と家庭、学校等のつながりの中での家庭教育支援の充実
- ③ 家庭、保育園、地域が連携して共に育む「幼児共育」の活動推進
- ④ 地域を支える青少年育成、活動の推進
- ⑤ 社会教育施設等への支援
- ⑥ 主体的に学べる生涯学習・生涯スポーツのシステムづくり
- ⑦ 町ぐるみで健康と活力を築くスポーツシステムづくり
- ⑧ 異世代間の学習やスポーツ交流による意識改革
- ⑨ 町外との学習やスポーツ交流によるレベルアップ

(4) 自然と文化を活かした心豊かな人づくり

町内にある自然資源や文化遺産を大切にし、自然環境学習、新たな文化活動に向けた取組を継続する。

- ① 自然教育、環境教育、生活文化、歴史など学校、地域で学習する機会の拡充
- ② 新たな文化財の掘り起しと文化財の保存活用
- ③ 芸術文化活動の普及・推進
- ④ 趣味や生きがいがづくりサークルの発掘及び情報提供

◎総合計画の体系図

基本構想

まちづくりの理念

- ① 『みんなが主役運動』
- ② 『まち自慢運動』
- ③ 『現役延長運動』

一人ひとりが地域づくり・まちづくりに参画を
西川町で暮らすことの優位性・楽しさを確認
町全体の現役世代を広めて活力の維持を

- 取組1 「まちづくり基本条例の設置」
- 取組2 「西川版幸福指標の創設」
- 取組3 「現役時代宣言」

基本目標

1 互いに助け合い、地域が安全・安心・持続できる地域環境を整備。
2 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。
3 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。

1 互いに助け合い、地域が安全・安心・持続できる地域環境を整備。
2 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。
3 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。

1 互いに助け合い、地域が安全・安心・持続できる地域環境を整備。
2 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。
3 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。

1 互いに助け合い、地域が安全・安心・持続できる地域環境を整備。
2 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。
3 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。

1 互いに助け合い、地域が安全・安心・持続できる地域環境を整備。
2 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。
3 健康・安全・安心・持続できる地域環境を整備。

基本施策

- (1) “健やか” まちづくり元氣人
- (2) はつらつ世代をめざして
- (3) 障がい者の地域生活支援
- (4) みんなで助け合う地域防災
- (5) 快適な雪国生活の提供
- (6) 持続できる新たなコミュニティづくり
- (7) 生活環境保全の推進
- (8) 快適・利便性の高い暮らしづくり

- (1) 活気づく「農、林、業」の推進
- (2) 町内経済の循環と雇用創出
- (3) ライフスタイル提供型観光の推進
- (4) 地域資源活用型再生エネルギーの創出

- (1) 次世代に引き継ぐ文化振興
- (2) 生涯にわたる生きがいづくり
- (3) 全国に誇れる自然教育・学習の推進

- (1) 子育て応援態勢づくり
- (2) 郷土に愛着 豊かな感性を育く教育
- (3) 町を支える次世代育成
- (4) 女性が活躍できるまちづくり

- (1) 健全な町政 スリムな行政
- (2) ひらかれた情報の収集と発信

基本計画

具体的施策

- II 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
 - II 質の高い医療・医療体制
 - II 介護サービス充実
- II 高齢者の住み良い環境づくり
 - II 障がい者福祉の充実
 - II 災害時に強い体制づくり
 - III 消防団員の確保
 - V 交通事故事故「0」運動
- II 安心して暮らせる除雪体制づくり
 - III 雪に親しみ冬を楽しむ
- II 地域組織の一元化
 - III 空き家の適正管理と活用
- II 水先化の向上
 - III 不法投棄撲滅運動
- II 快適な生活基盤の整備
 - III 住環境の整備
- II 後継者・経営体の育成
 - III 生産向上対策
 - V 適切な森づくりと生産・施業
- II 町内経済の循環
 - III 第3セクター機能の強化と既存施設の拡充
- II 地域資源を活かした観光の推進
 - III 国際観光の推進
- II 地域資源活用型再生エネルギーの創出
 - II 地域文化の伝承
 - II 生涯学習の推進
 - III 推進団体の整理
 - II 自然教育・学習の推進
- II 子育て応援態勢の整備
 - II 次世代の親の支援
 - II 郷土教育の推進
- II 若者の出会い・交流の場の創出
 - II 定住の条件整備
- II まちづくり参画の醸成
 - II 女性が社会進出しやすい環境の整備
 - II 女性が活躍できる機会の整備
- II 計画的町政運営と健全化対策
 - II 実行力のある組織整備と行政改革の推進
- II 効果的な情報発信の推進

地域別計画

- ★健康長寿プロジェクト
【健康寿命延伸】
- ★安全・安心・持続プロジェクト
【地域づくりセンター設置】
- ★総合産業基盤強化プロジェクト
【中核機能の強化とエネルギー対策】
- ★健康産業創造プロジェクト
【健康づくりで総合産業】
- ★出羽三山文化復興プロジェクト
【出羽三山に基づく文化振興】
- ★自然教育・学習推進プロジェクト
【自然教育・学習先進地づくり】
- ★人材育成プロジェクト
【子育て・若者対策と女性力の喚起】

「キラリ☆月山」健康元氣にしかね!

IV 事務事業点検・評価

点検・評価対象事業一覧

事業名	担当課	6次総合計画の体系区分
教育用コンピュータ整備事業 (新型コロナウイルス感染症対策)	学校教育課	4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり (2) 郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育 I 学校教育の充実
新型コロナウイルス感染症対策事業	学校教育課	〃
外国語宿泊研修事業 (小学校教育振興に要する経費)	学校教育課	〃
放課後子どもプラン事業	学校教育課	〃
丸山薫記念館文芸活動推進事業	生涯学習課	3 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり (2) 生涯にわたるいきがづくり I 生涯学習の推進
町立図書館の管理運営に要する経費	生涯学習課	〃
月山湖カヌースプリント競技場施設 整備事業	生涯学習課	3 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり (2) 生涯にわたるいきがづくり II スポーツの振興
町民スキー場管理運営に要する経費	生涯学習課	〃

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	教育用コンピュータ整備事業 (新型コロナウイルス感染症対策)	所管課 ・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 [第6次西川町総合計画]	4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり (2) 郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育 I 学校教育の充実	予算 科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育振興費

2 事業の概要

事業目的	①家庭でも繋がる通信環境を整備し、災害や感染症の発生等による学校臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを補償できる環境を整備する。 ②特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。
事業内容	西川小学校及び西川中学校の全ての児童生徒に1人1台の端末と、学年を担当する教員が使用する端末を整備する。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	0	補正額等	17,079	合計	17,079	決算額	16,912
備考							

4 事業の実施状況

(西川小学校)児童用 164台、教員用 9台 (西川中学校)生徒用 126台、教員用 6台 計305台 端末仕様: OS(Microsoft Windows)、機種(Dynabook社 K50シリーズ)、画面(10.1型 タッチパネル付)、バッテリー(約16時間)、重さ(約1,180g キーボード装着時)、カメラ機能付、脱着式キーボード 等

5 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	新型コロナ感染症などの社会情勢の変化に対応した早急の整備であったが、年度内に完了しており適切に対応している。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> ある程度の効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	学校の授業での活用の他、家庭でも端末を使用できる体制づくりができたことは、学習の場の補償となり十分に効果がある。
有効性	期待された成果は得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	年度内での整備を完了した。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	・本来ICTを導入する目的であったGIGAスクール構想(教育ICT環境の実現)のため、端末を活用した授業や家庭学習の充実を図る学習ソフト(ミライシード)を導入していく。 ・各学校にICT支援員を派遣し、教員の授業補助や相談、助言をいただき端末の活用促進を図る。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 〔第6次西川町総合計画〕	4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり (2)郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育 I 学校教育の充実	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 中学校費 1 学校管理費 1 学校管理費

2 事業の概要

事業目的	新型コロナウイルス感染症対策の感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びの保障をするための取組に必要な経費を補助する。
事業内容	国の「学校保健特別対策事業費補助金」を活用し、小中学校それぞれに100万円を配当して学習保障のために必要となる消耗品や備品を購入する。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	0	補正額等	1,003 1,002	合計	1,003 1,002	決算額	1,003 1,002
備考	上段(10.2.1小学校費)、下段(10.3.1.中学校費)						

4 事業の実施状況

(小学校)消耗品費:ライトニングケーブル 備品購入費:プロジェクター、ビデオカメラ、二酸化炭素測定器、液晶テレビ、実物投影機、ビックファン、デジタルカメラ (中学校)消耗品費:拡大プリンター用インク 備品購入費:ビックファン、テーブル、パーテーション、液晶プロジェクター、スタッキングチェア
--

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	新型コロナ感染症の社会情勢に対応した事業であり、適切に対応している。
効率性 投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> ある程度の効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	経費の1/2が補助となる補助事業を活用し、三密を避ける対策で活用する備品等の購入が効率的にできた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	年度当初は臨時休業もあったが、年度末までに学習の時数も確保できた。コロナ感染者やクラスターが発生することもなく、児童生徒の学びの保障の成果は得られた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新型コロナウイルス感染症に伴い学習の保障を行う臨時的な事業であったが、国では金額を縮小して同様の事業を令和3年度も実施している。西川町でも小中学校にそれぞれ80万円の補助交付申請を行っており、年度内で必要となる備品等の購入を実施していく。町の予算措置では9月補正予算に計上予定であり、購入する備品等は小中学校で現在選定を行っている。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	外国語宿泊研修事業 (小学校教育振興に要する経費)	所管課 ・係	学校教育課 教育総務係												
施策体系 〔教育振興計画〕	4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり (2)郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育 I 学校教育の充実	予算科目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">款</td> <td style="width: 5%;">10</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 80%;">教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>2</td> <td></td> <td>小学校費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>2</td> <td></td> <td>教育振興費</td> </tr> </table>	款	10		教育費	項	2		小学校費	目	2		教育振興費
款	10		教育費												
項	2		小学校費												
目	2		教育振興費												

2 事業の概要

事業目的	外国語に触れたり外国の生活や文化等に親しんだりする体験的な学習の機会を提供し、コミュニケーション能力の向上を図る。
事業内容	・小学6年生が、福島県のプリティッシュヒルズでの外国語宿泊研修を行うため、英会話レッスン代の全額、宿泊料、昼食代の一部を補助する。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	683	補正額等	0	合計	683	決算額	264
備 考							

4 事業の実施状況

<p>9月10日～11日に、小学6年生43名、教員4名、ジョー1名の48名が参加。プリティッシュヒルズで、1日目に、英語レッスンを2回受講し、宿泊研修を実施。</p> <p>補助については、これまでの修学旅行で保護者が負担していた宿泊代、昼食代以上にかかる分と、英会話レッスン代の全額を補助するもの。令和2年度については、国の補助金があったため、支出額が少なくなっている。</p>
--

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	外国語指導者2名の配置により、日頃より外国語に触れた活動を行っているが、英語しか話さないスタッフの中で行う本事業は、今後町を担う人材のコミュニケーション能力と外国語の力を実践的に養う大切な学習の場となっている。
効率性 投入した経費に見合った効果が得られているか (費用対効果は適正か)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> ある程度の効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	国の補助金も活用したため、結果的に児童一人当たり5610円の補助金の支出となった。少額の補助で、外国語研修を十分行うことができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	研修に行った後に、子どもや教員が外国語に向き合う姿勢に変化があった。卒業式で決意を英語で発表した子どもが現れたり、西川っ子まつりで英語劇を披露したりと、外国語が身近なものになっている。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	保小中を通し同一集団の中で学ぶ子ども達が、グローバルな広い視野をもって生きていくためには、英会話ができること、億劫することなく他とコミュニケーションができることが重要となる。そのためにも、学校外での外国語研修は、貴重な体験となるため、継続して実施していきたい。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	放課後子どもプラン事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 〔教育振興計画〕	4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり (2)郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育 I 学校教育の充実	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子ども達の安全安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達に学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。
事業内容	計画立案連絡調整のためコーディネータや推進員及び安全管理員を配置し、就労等で放課後留守家庭となる子どもを見守るとともに、地域の協力の下、様々な体験活動や交流活動を実施する。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,602	補正額等	61	合計	5,663	決算額	5,266
備考							

4 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ■放課後子ども教室 【開催日数】:授業日195日、1日開催(41日)、土曜日(12日) 【参加児童数】:21人 ■運営スタッフ 【推進員等】平均:3人 登録人数:7人 【安全管理員】:1日開催時 登録人数 3人 ■運営委員会の開催(年2回)子どもプラン実施についての検討会(10名委嘱) ■放課後子ども教室における体験活動 農業体験活動、GGボランティア、英語教室、学習活動、お話し、読書活動、食育教室、木育教室、プラネタリウム鑑賞会 西川交流センターミニ文化祭作品展示、クリスマス会、理科の窓 *地域の指導者(延べ人数) 95 人 中学生ボランティア 0名
--

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	家庭環境により放課後の子どもの見守りを希望している町民の要望していることに十分対応している。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか (費用対効果は適正か) <input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> ある程度の効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	見守りだけでなく、地域の人材を活かした体験活動を実施するなど、投入した経費以上の効果が得られている。
有効性	期待された成果は得られたか <input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	子ども達の居場所の確保のみならず、健全な子どもの育成のための地域住民との関わり等、期待されて成果が得られている。

6 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	少子化がますます進むことが予想される今日において、子どもの居場所づくりは、とても重要な課題である。また、家庭環境の変化に伴い、子どもの居場所づくりを希望する保護者の増加も見込まれる。また、郷土に愛着を持ち、豊かな感性を磨く人間を育成する郷土教育の振興のためにも、見守り活動重視から、地域の特色を活かした活動へ移行していくことが必要である。現在は家庭環境によって受け入れの制限をつけているが、それ以外の児童のニーズを把握し、それに基づいて、より多くの子どもが本事業に参加できるよう環境を整えていく。

事務事業点検・評価調査書

1 事業名等

事業名	丸山薫記念館文芸活動推進事業
施策体系 〔第6次西川町総合計画〕	3 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり (1) 次世代に引き継ぐ文化振興 Ⅱ 文化資源の活用

所管課 ・係	生涯学習課		
	生涯学習係		
予算 科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	岩根沢地区で一時期を過ごされた著名な詩人、丸山薫の詩に児童生徒を触れさせると共に、詩作活動を通して自然や生活、文化を学び、心豊かな人間性を育む。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町制施行40周年(平成6年)を記念に、「丸山薫少年少女文学賞『青い黑板賞』」として創設され、小中学生を対象とした詩のコンクールを開催(小学生下学年、上学年、中学生の3部門) ・第20回目(平成25年度)を機に、西村山管内の小中学校の児童生徒まで募集の範囲を拡大 ・中学生までの9年間の作品を「私のあしあと」としてまとめ、中学校の卒業式に合わせて贈呈

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	888	補正額等	0	合計	888	決算額	721
備考							

4 事業の実施状況

<p>第27回丸山薫少年少女「青い黑板賞」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月 実行委員会の開催及び作品募集の開始 ・10月 募集〆切(527点の応募) ・12月 最終審査会(審査結果:最優秀賞1点、優秀賞6点、入選9点、佳作12点) ・1月 生涯学習総合表彰式にて表彰 ・3月 西川中学校卒業式にて「私のあしあと」贈呈
--

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町が誇る文化資源のひとつである丸山薫の詩の世界に児童生徒が詩作を通して触れる大切な取り組みである。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> ある程度の効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	実行委員会が出された意見を参考に、経費を増やすことなく管内小中学校への周知を拡げるなど円滑に遂行できている。(応募数は前回よりも61点増加している。)
有効性	期待された成果は得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	審査員の評価や小中9年間の作品の軌跡などからも、子ども達の確かな成長が見受けられ、目的に合った成果が挙げられている。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	子ども達にとって日頃感じたことを自分の言葉で詩にすることは、考える力や表現する力が養われるとともに、地域に対する愛着も育まれることが期待できるため、児童生徒の文学活動のひとつとして継続していく。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	町立図書館の運営に要する経費	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 <small>(第6次西川町総合計画)</small>	3 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり (2) 生涯にわたる生きがいづくり 1 生涯学習の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	町民にとって身近で利用しやすい図書館づくりを目指しながら、各世代の環境に応じた図書サービスの充実を図り、生きがいづくりや心豊かな人づくりを進める。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本町図書館の特質を考慮し、学校教育課、小学校との連携を密にした管理運営 ・各種団体やサークルの活動支援 ・読書感想文・感想画コンクールの実施 ・自作視聴覚教材制作支援

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,227	補正額等	46	合計	2,273	決算額	2,216
備考							

4 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書貸借及び購入整備(蔵書数:約68,000冊/令和3年4月1日現在) ・常設展示として、季節の特集、おすすめ作家の本など、年間を通して見て楽しめる展示 ・ブックスタートとして、11・12か月検診の乳幼児に絵本進呈 ・交流室の各種サークル等による活用(サークルぴーつく、せせらぎ俳句会など) ・図書館を訪れることが難しい方のための巡回貸出(丸山薫記念館・年5回、大井沢支所・年5回) ・西川中学校への巡回文庫(年8回) ・町内小中学校を対象にした読書感想文・感想画コンクール(感想文:32点/感想画:50点) ・自作視聴覚教材コンクール出品者への制作支援(2名)

5 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	話題となっている作品の購入や各世代の読書に対するきっかけづくり、巡回貸出を手がけるなど、時代の要請に応じて適切に対応している。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> ある程度の効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	利用者カードの登録数も毎年増えていることから、町民の読者活動の推進が図られている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	日常業務に加え、独自の企画事業の実施など、図書館に求められる役割を着実に進めており、一定の成果が上げられている。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	図書館に対するニーズを把握しながら、親しみやすい図書館づくりのための総合的かつ計画的な事業を展開し、引き続き、読書活動の推進を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	月山湖カヌースプリント競技場施設整備事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興係
施策体系 <small>〔第6次西川町総合計画〕</small>	3 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり (2) 生涯にわたる生きがいづくり II スポーツの振興	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 社会体育総務費

2 事業の概要

事業目的	町のスポーツであるカヌーの普及と振興、競技力の向上を図るとともに、カヌーを通じたまちづくりを推進するため、カヌー競技場の整備とカヌー関係備品の整備を行う。
事業内容	・月山湖カヌースプリント競技場1000mコースの整備 ・カヌー関係トレーニング設備の充実

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	57,283	補正額等	△ 6,429	合計	50,854	決算額	50,806
備考							

4 事業の実施状況

【カヌー競技場整備】 40,304千円 月山湖カヌースプリント競技場1,000mコース設備製作及び設置工事 40,260,000円ほか 【カヌートレーニング設備購入】10,502千円 カヌーエルゴ購入(カヤック用4台、カナディアン用1台) 3,190,000円ほか

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	カヌー競技の普及のための教室は参加人数も多く、子ども達からの支持もある。競技力向上のためには練習環境の整備を求められることから、月山湖カヌー競技場の整備はそれらニーズに対応するものである。
効率性 投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> ある程度の効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	競技場整備コストが大きいのが、県などからの支援を受けて進める工夫をしたことにより、最小限の経費で効果を生んでいる。
有効性 期待された成果は得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	競技場整備に努め、底辺拡大・指導力の強化を行っていることで、競技力においては全国トップクラスの成績であり事業の効果は高い。また、1,000mコース完成により、全国大会の誘致にもつながり成果は得られている。

6 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後のさらなる競技力の向上と、全国レベルの大会を定期的に誘致し開催することで町内経済への貢献も図っていく。そのためにも、月山湖まねきの丘への常設艇庫の整備を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	町民スキー場管理運営に要する経費
施策体系 〔第6次西川町総合計画〕	3 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり (2) 生涯にわたる生きがいづくり II スポーツの振興

所管課 ・係	生涯学習課		
	スポーツ振興係		
予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	町民スキー場運営費

2 事業の概要

事業目的	冬期間のスポーツ振興、レクリエーション普及の一環としてのスキー場施設提供
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場ゲレンデの整備と安全確保(ゲレンデ整備、パトロール業務) ・休憩所の管理運営(業務委託) ・リフト運営補助

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	13,785	補正額等	2,443	合計	16,228	決算額	16,085
備考							

4 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場リフト主電動機オーバーホール等整備 3,806,000円 ・ナイター照明投光器取換修繕 385,000円 ・ナイター照明角度調整他修繕 60,500円 ・スキー場ロッジ内照明器具修繕 50,600円 ・スキーポール購入 62,590円 ・管理センター運營業務委託 990,000円 ・スキー場パトロール業務委託 148,500円 ・ゲレンデ用地刈払整備委託 93,500円 ・スキー場用地の賃貸借 955,438円 ・スキー場高圧コンデンサ入替工事 665,500円 ・給水ポンプ小屋災害復旧工事 1,980,000円 ・索道事業運営補助 6,600,000円
--

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町のスポーツとしてスキーの重要性が増す中で、身近に利用できるスキー場として町民等のニーズに応えられている。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> ある程度の効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	スキー場としての必須設備である索道運営に対する運営補助は適当と考えられる。設備の老朽化に対する修繕を、計画的に実施したことにより、設備の安全性は向上している。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	町の特長を活かす観点から、小学校のスキー教室等で利用がされていることや近隣市町からスキーヤーが訪れているなど確かな成果が見られる。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な環境を整えるために、ゲレンデ整備とパトロール業務を継続していく ・スキースポーツ振興のため、スキークラブ等との連携のもとにスキー教室などの継続開催を検討していく。 ・さらなる利用者を増やすために、現在行っているSNSを利用したゲレンデやイベント情報の発信を、さらに強化していく。

V 外部評価委員(西川町事務事業評価委員)の意見

1. 教育委員会の活動状況についての意見

- ・年間の活動状況から、多数の会議研修があり、安心・安全に教育が行える環境づくりに尽力されている、教育委員会関係の皆様にご敬意を表します。
- ・年間計画に従って概ね執行されている。新型コロナウイルス感染症対策のために学校訪問がやむを得ず中止になっているが、それに代わる活動はなかったのか。直接訪問ができなければ、児童生徒の学校での様子や学びの課題など、学校側から説明を受けるなどはできたのでは。もし実践したとするならば、明記した方が良いと思う。
- ・中学生になると不登校になったり、保健室で待機する生徒が増える傾向について、検証や対策が求められると感じました。
- ・町立図書館の照明が換わり、明るさも印象も良くなりました。10年ほどしか経たなくても、不都合については改善されていると感じました。教育、スポーツに対する予算要望については、必要なものについては購入していただくようお願いいたします。

2. 事務事業の点検・評価についての意見

(1) 総括

- ・これからの社会の大きな変化や、町民の意見等に対する実態把握をしっかり行い、各分野で点検・評価の取り組みをしていただければ幸いです。
- ・各事業についての評価についてはよく理解できたが、基本目標や基本的方向性など全体的な評価が見えない。教育委員会全体の取り組みを通して、どんな成果や課題があるのか、また目標達成のためにはどんな事業に力を入れるべきか等を明記するとさらに分かりやすい。
- ・教育用コンピュータを導入について初めてのことで、検証していく必要があると思いますし、ICT支援員による継続的な指導による利用の促進が求められると思います。
- ・町のスポーツとしてカヌーを推進し、コースを整備し各種大会を行うことは交流人口拡大になり、町の宣伝にもなります。カヌー大会等を開催する場合に大学生などは事前に合宿を行う等、長期滞在の傾向があるようですので、受け入れについて支持が得られず、必ずしも町産業へのプラスになっていないように思いましたので、町として見直しや検討が必要と思いました。

(2) 事務事業

①教育用コンピュータ整備事業

- ・通信環境の整備がどの程度家庭に普及しているかわかりませんが、持ち帰っての学習時に差別が生じないように又、トラブルやセキュリティに対しても対応していただきたい。
- ・環境が整い使用に慣れてくれば、効率性も「十分に効果が得られている」になると思われます。
- ・効率性や有効性についての評価については、実際に活用している授業の様子を見たり、教職員や児童生徒がどのように感じているかを把握したりすることで判断する必要があるのではないか。
- ・今後は、学校での子どもの様子を各家庭に持ち帰ったタブレットで見られるようにするなど、幅広い活用方法を考慮した対応を明記すべきと思う。
- ・適切に対応されていると思います。
- ・学年により、使用する頻度が違うと思いますので、導入したことによる効果や使用方法について確認の必要があると思います。今まで小学校ではメディアに触れない日を設定したりしていましたが、今後は親と一緒に触れたり、使用について考える日を設けては、と思いました。

②新型コロナウイルス感染症対策事業

- ・臨時休校、縮小しての運動会、全県一斉の水泳の禁止、子供達はつらい一年だったように思います。
- ・対策事業の評価については全て最上位が妥当だと思います。
- ・物品の購入だけでなく、今後は新型コロナウイルス感染症の影響から不安や不満をかかえている児童生徒の元気を取り戻し健やかな成長を促す事業等も考慮すべきと思う。例えば、全く歌えない現状から文化芸術鑑賞会や子ども達の実態から必要な楽しい体験活動など、子どもの心に対応した活用を考えたい。学校に任せるだけでなく、町としての考えを伝えることも大切なことと思う。
- ・適切に対応されていると思います。
- ・国の予算措置を有効に活用して、必要な備品の購入をお願いします。

③外国語宿泊研修事業

- ・コロナ渦での修学旅行を多数の人との接触を控えるため、研修事業に変えたのでしょうか。
- ・初めてのことなので、必要性はおおむねなんのでしょうか。
- ・個人負担が減ることは良いことだと思います。

- ・目的意識を明確にして取り組むことが大事だと思う。子ども達が必要感と達成感をもって外国語宿泊研修を望んでいることはすばらしい。小学校の体験が、中学校の外国語活動学習へとつながっていくことを期待したい。
- ・適切に対応されていると思います。
- ・コロナウイルス環境下ではありますが、今後も継続しての実施をお願いしたいと思います。

④放課後子どもプラン事業

- ・他市町では、月々の活動費が発生する学童等があるようですが、本町では保険料のみで見えていただけるプランは有難く感じます。
- ・個人的にいくつかの体験活動に参加していますが、子供の楽しそうな顔を見ると癒されます。
- ・有効性では、どこが期待した成果が得られていないのでしょうか。
- ・今後益々の拡充をお願いいたします。
- ・有効性の評価が「概ね～」であるのはどうしてか。評価の理由では、「期待した成果が得られている」と記されている。
- ・適切に対応されていると思います。
- ・現在は小学校において放課後子どもプランを実施しておりますが、今後は小学生だけでなく必要や要望に応じ中学生を対象としたプランも考えていただきたい。(中学校に1名職員を必要により派遣するなど)

⑤丸山薫記念館文芸活動推進事業

- ・周知の範囲を広げ応募数が前年度より61点増加良いことですね、「青い黒板賞」はこれからも継続して頂き、記念の30回には町民の大人の参加枠を作ってはどうか。
- ・効率性について61点の増加でも「ある程度の成果」でしょうか。
- ・「青い黒板賞」は西川町ならではの価値ある貴重な文化事業であり、丸山薫の詩の鑑賞や詩作活動は児童生徒の豊かな感性を育む教育の場ともなっている。今後とも継続していけるよう学校との連携を大事にしたい。効率性の評価については、「十分に～」でないのはどうしてか、理由を明確にすべき。
- ・入選作品を広く町民にも読んでもらえる工夫があるとよい。例えば、町報に児童詩のコーナーを設け、毎回一作品を載せるなど。児童生徒の詩を読むことで、町民の心も豊かになるのではないだろうか。
- ・適切に対応されていると思います。
- ・青い黒板賞については、西村山管内からも応募があり、今後少子化の影響もあり、輪を広げていければと思います。丸山先生の詩の暗唱など今後も継続して行ってください。

⑥町立図書館の管理運営に要する経費

- ・利用状況を見るとコロナの影響が数字に出ているのでしょうか。
- ・独自の事業も数多くなされ、今後も継続し学校との連携も密にさせていただき、子供達の活字離れを減らして頂きたいです。
- ・今後の対応策では、「継続」になっているが、評価を上げるための新たな手立てが必要かと思う。もしくは、より具体的な対応策を考えるべきかと思う。
- ・町立図書館とはなっているが、町民の方々からは「入りにくい」という声が聞かれる。
- ・適切に対応されていると思います。
- ・中学校の巡回文庫、団体貸し出し利用が少ないと感じました。巡回文庫をするにあたり、準備の苦労等を考えると、なぜ利用者が少ない状況なのか、検証が必要に思います。

⑦月山湖カヌースプリント競技場施設整備事業

- ・1,000m コースを整備したことにより、オリンピックの事前合宿や日本選手権等が予定されていることは喜ばしいことではあるが、宿泊関係が懸念されるのではないのでしょうか。今後に期待します。
- ・すばらしいコースが完成し、今後の活用に期待したい。
- ・町民が気軽にカヌーに乗れる機会があればいいと思う。
- ・概ね適切に対応されていると思います。
- ・経費が高いものでもありますが、トレーニングマシンの設置場所や管理について検討が必要だと思います。専門的な器具のようですが、町民の中からインストラクターを養成したり、中学生や高校生の活動などで有効に使用したりできるようにお願いしたいと思います。(活用している説明など)

⑧町民スキー場管理運営に要する経費

- ・すぐそばにグレンデがあることは素晴らしいことではないのでしょうか。
- 小さい子供を連れていくには手ごろです。
- ・維持費はかかりますが、今後も町民の為に継続して頂くことに期待いたします。
 - ・安全な環境を整えることが一番大事かと思う。
 - ・適切に対応されていると思います。
 - ・町民スキー場が整備されて40年近くになり、町にとって必要なものでありますので、計画的な整備をお願い致します。町の畑等の耕作料金から見ると、賃貸借料金が高いように感じました。

西川町教育委員会の教育に関する事務の点検及び評価実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号 以下「法」という。）第26条の規定に基づき、西川町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象と実施)

第2条 点検及び評価の対象は、前年度に教育委員会が実施した事務事業のうち、教育行政の推進上重要な事務事業として教育長が選定したもの又は評価委員会が必要としたものを運営状況及び事務事業の執行状況について行うものとする。

(評価委員の設置等)

第3条 教育委員会は、点検及び評価を行うにあたり、透明性及び客観性を確保するため、西川町教育事務評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は3名以内とし、教育に関し学識経験を有するもののうちから教育委員会が委嘱する。

4 評価委員の任期は、2年間とする。ただし、補欠委員の任期は、残任期間とする。

5 評価委員は、再任することができる。

(町議会への報告)

第4条 教育委員会は、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、毎年町議会に提出するものとし、当該報告の後に町民に対し公表するものとする。

(委任)

第5条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附則

この要綱は、公布の日から施行する。

西川町教育委員会事務事業点検・評価実施要領

1. 点検・評価の対象とする事務事業の選定

(1) 選定方法

点検・評価の対象とする事務事業（以下「対象事業」という。）は、前年度に教育委員会
が実施した事務事業の中から、主要事業として事務局会議において選定するものとする。

(2) 対象事業の単位

対象事業として選定する事務事業は、原則として予算上の事業を単位とする。

(3) 選定基準

西川町総合計画に掲げられた事業及び「教育行政の一般指針」に掲げられた事業につ
いては、原則として対象事業に選定するものとする。

2. 点検・評価の方法

(1) 評価の観点

点検・評価は、次の観点を基本として行う。

- ①必要性 社会情勢や町民のニーズの観点から事業等を推進する理由が適切であること
- ②効率性 費用対効果が適正であること
- ③有効性 施策推進のため有効で、期待された効果が得られること

(2) 評価の基準

点検・評価の基準は別紙のとおりとする。（別表1）

(3) 方向性の明示

点検・評価の結果を踏まえ、次の区分に従って、事務事業の今後の方向性を明らかに
するものとする。

- ①拡 充 規模・内容を拡充し継続すべきもの
- ②継 続 概ね現在の規模・内容で継続すべきもの
- ③縮 小 事業規模を縮小して継続すべきもの
- ④見直し 事業の方向性・手法を見直すべきもの
- ⑤休廃止 統廃合や休廃止を検討すべきもの又は事業の目的を達し、完了すべきもの

(4) 事務事業点検・評価調書の作成

- ①点検・評価は、対象事業ごとに「事務事業点検・評価調書」（別記様式 以下「評価調
書」という。）を作成して行う。
- ②評価調書の具体的な記載方法は別紙のとおりとする。（別表2）

3. 点検・評価の手順

(1) 評価事業の提出

教育委員会の各課担当係において、事務局会議で選定された事業について点検・評価
を行い、評価調書を作成する。

(2) 点検・評価事業（事務局案）の決定

事務局会議において、各係から提出された対象事業の評価調書について、再度内容の確認、検討を行い、事務局案を決定する。

(3) 教育委員会の開催

評価調書（事務局案）について、教育委員会において説明する。

(4) 評価委員会議（第1回）

評価調書に基づき、点検・評価（事務局案）を説明する。

(5) 評価委員会議（第2回）

点検・評価（事務局案）について各評価委員の意見聴取を行う。

(6) 報告書（事務局案）の作成

事務局会議において各評価委員の意見をもとに、その内容を評価調書に反映させ、報告書（事務局案）を作成する。

(7) 教育委員会

教育委員会が実施した事務事業の点検・評価の結果（報告書）について最終決定する。

4. 定例議会への報告

教育委員会において決定した「教育委員会事務事業点検・評価報告書」を定例町議会に提出する。

5. 公表

町議会に提出した報告書についてホームページで公表するとともに、交流センター「あいべ」に備え置き町民の閲覧に供する。

評 価 基 準

評価の視点		評価区分	基準
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	適切に対応している (社会情勢等の変化に適切に対応している。)	社会情勢や町民のニーズの変化などの観点から事業の内容が適切かどうか判断します。 この視点の評価が低い場合は、事業の内容を社会情勢等の変化に合わせたものに変更していく必要があります。
		概ね対応できている (社会情勢等の変化に概ね対応できている。)	
		ほとんど対応できていない (社会情勢等の変化にほとんど対応できていない。)	
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか (費用対効果は適正か)	十分に効果が得られている (投入経費に見合った効果が十分得られている。効果を前提とすれば、コスト削減はかなり困難である。)	投入した経費に見合った効果が得られているかを評価します。 この視点の評価が低い場合、事業の内容や事務処理に非効率な部分があることになり、実施方法や実施主体の見直し、事務手続きの簡略化などが必要になります。
		ある程度の効果が得られている (投入経費に見合った効果がある程度得られている。コスト削減について一部検討の余地がある。)	
		効果があまり得られていない (投入経費に見合った効果があまり得られていない。大幅なコスト削減について検討が必要である。)	
有効性	期待された成果は得られたか	施策の推進のため十分に有効である。 (期待された効果が十分得られている)	事業の内容が施策の推進のために有効なものであるか、期待された成果(目標の達成など)が得られているかどうかを評価します。 この視点の評価が低い場合は、類似事業(団体)との連携や統廃合など事業の見直しが必要となります。
		施策の推進のため概ね有効である。 (期待された効果が概ね得られている。)	
		施策の推進のためあまり寄与していない。 (期待された効果があまり得られていない。)	

事務事業点検・評価調書の記載方法

区分・項目		記載方法等	整合性を図るべき資料
「評価調書」を作成すべき事務事業		事務局会議において点検・評価の対象事業(主要事業)として選定されて事務事業とする。	・実施計画に掲げられた事業及び「教育行政の一般方針」に掲げられた事業については、原則として対象事業とする。 ・「主要な施策の成果」
1 事業名等	事業名	事務局会議において評価の対象として選定された事業名を記入する。	
	施策体系 [教育振興計画]	当該事務事業が位置づけられる西川町教育振興計画上の基本施策名を、上から大項目・中項目の順に記入する。	
	予算科目	当該事務事業の予算科目を記入する。	
2 事業の概要	事業目的	事務事業の目的(どのような状態にするために)を記入する。	・実施計画要求書の「事業目的」、「事業概要」
	事業内容	当該事業に係る数値目標があればその目標数値等を記入する。	
3 予算額・決算額		当該事業に係る当該予算額・決算額を記入する。ただし、決算額は千円未満切上げとする。「補正額等」には、予備費流用額等も含める。	予算書、決算書の数値。決算額については「主要な施策の成果」
	備考	予算額又は決算額について、特に説明を必要とする場合にのみ記載する。	
4 事業の実施状況		当該事業の実施状況、計画に対する達成状況等について、文章で簡潔に記載する。 「事業の内容」に数値目標を設定した場合は、実績の数値を記載する。	主要な施策の成果
5 事業の評価	評価	当該事業について、評価項目ごとに評価基準に基づいて評価し、該当するものに■チェックする。	
	評価の理由	評価した理由を具体的に記入する。	
6 今後の方向性	方向性	評価の結果を踏まえて、次の区分に従って、事務事業の今後の方向性について記入する。(該当するものに■チェックする。) ① 拡 充 規模・内容を拡充し継続すべきもの。 ② 継 続 概ね現在の規模・内容で継続すべきもの ③ 縮 小 事業規模を縮小して継続すべきもの ④ 見直し 事業の方向性・手法を見直すべきもの ⑤ 休廃止 統廃合や休廃止を検討すべきもの又は事業の目的を達し完了すべきもの	
	今後の対応	上記「方向性」を選択した理由を含め、今後の対応策又は方針を記入する。	